



京都大学

設置期間 2024年4月1日～2029年3月31日

寄附者 株式会社 日本M&amp;Aセンターホールディングス

日本M&amp;AセンターHD

「中小企業のバリュエーションに関する研究  
ー中小M&Aの取引価格の透明性向上のためにー」

## 教員

特命教授 三宅 卓 客員教授 熊谷 秀幸  
客員准教授 加藤 政仁 教授 砂川 伸幸

## 共同研究テーマ

- ・ 中小 M&A の取引価格（株式価値）に関するデータ分析
- ・ 中小企業と上場企業のバリュエーションの比較分析
- ・ ESG 要素を織り込んだ株式評価モデルの開発

## 概要

日本において、未上場企業の企業評価（バリュエーション）に関する学術的な研究はほとんど進んでいないという現状があります。企業評価総合研究所は、中小企業の M&A 取引と売買価格に関する豊富なデータを保有していることから、それらのデータを活用して、中小企業の企業価値や M&A 取引に関する実証研究を行い、この領域で学術的に貢献することを目指しています。

本寄附講座では、企業評価に関する研究と教育を行います。研究においては、① 中小未上場企業のバリュエーションに関するデータ分析・実証研究、② ESG パフォーマンス（ESGP）を織り込んだ企業価値評価モデルの開発を行います。ESGP を取り入れた企業評価モデルは、京都大学経営管理大学院・砂川研究室がこれまで取り組んできたテーマでもあります。共同研究を通じ、学術的かつ実証的な ESG 企業価値評価モデルを開発し、その普及に取り組む予定です。

教育においては、京都大学経営管理大学院や経済学部にて実務経験や研究成果を取り入れた講義や、社会人向けのセミナーを開催します。これらの活動を通じて、企業価値評価や M&A、中小・中堅企業の事業承継やスタートアップの EXIT 戦略等に関する知見を普及し、日本企業の企業価値の向上に貢献します。





京都大学

設置期間 2024年4月1日～2029年3月31日

寄附者 株式会社 日本M&amp;Aセンターホールディングス



「中小企業のバリュエーションに関する研究

— 中小M&amp;Aの取引価格の透明性向上のために —



## 教員紹介



## 三宅 卓 特命教授

株式会社日本 M&A センターホールディングス  
代表取締役社長専門分野  
企業経営、中小 M&A 実務

## Message

中小企業の事業承継、生産年齢人口激減による業界再編、中堅企業や大企業の成長戦略など、あらゆる企業にとって M&A は必須の企業戦略です。これを分かりやすく、誰でも使えるようにお伝えするとともに、研究を進めていきます。



## 熊谷 秀幸 客員教授

株式会社日本 M&A センター  
常務取締役 品質本部長 兼コーポレートアドバイザー部長専門分野  
コーポレートファイナンス

## Message

中小企業の M&A は現在の社会課題である後継者問題を解決すると共に中堅企業を強化して日本の生産性向上にとっても非常に重要なツールとなっています。中小企業 M&A を知ることで社会課題解決のための武器を1つ手にしてください。



## 加藤 政仁 客員准教授

専門分野  
コーポレートファイナンス、証券アナリスト、ESG

## Message

基礎科目のファイナンスを担当します。



## 砂川 伸幸 教授

専門分野  
ESG 経営、コーポレートファイナンス、  
サステナブルファイナンス

## Message

ファイナンスと経営の研究・教育の道を選んで、ちょうど20年がたちました。前任の神戸大学では、社会人 MBA で経営戦略も担当しました。この間、幸いなことに理論（教科書や論文）と実務（経験）の双方を勉強することができました。皆さんと一緒に、ファイナンスや経営の理論と実践について議論することを楽しみにしています。